

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月11日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|----------------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 玉城町役場 | 代表者名 | 玉城町長 辻村 修一 |
| 担当者部署 | 総務政策課 | 連絡先電話番号 | 0596-58-8200 |
| 担当者役職 | 主事 | 担当者氏名 | 尾中 亮太 |
| | | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 519-0495 三重県玉城町114-2 | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 國領 二郎 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 専門的な立場からだけでなく、町の目線で良い点、改善した方がいい点をわかりやすくご助言いただいた。また、こちらの課題や現状を深掘りしていただき、より実情にあった、具体的なアドバイスをいただいた。また、国の検討状況など、国のリアルな動向もお聞きすることができた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|---------|-----------|--------------|--------|----------|---------|
| 3-1. 活動 | 2021年2月1日 | 10時00分 | 11時00分 | | 60 |
| | 派遣形態 | 支援・助言(オンライン) | | | |

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|--------------------------------------|
| 掲載許可 | <input checked="" type="radio"/> 掲載可 |
|------|--------------------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|--|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 3人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | |
| | 個別施策の選定にあたっては、コロナ後のニューノーマルな視点やDXなど、新しい時代の要請を踏まえつつ検討を進めている。一方で、国の情報化施策においては、いくつかの指針は示されているものの、コロナの長期化やデジタル庁の創設など外部環境が日々刻々と加速度的に変化している。そこで、策定した施策が国の計画や方針との整合性が確保されているか、今後の予想される外部環境の変化や技術革新を踏まえた内容となっているかなど、町視点だけではなく、多角的な視点での評価が必要。 | |
| | 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | |
| | 策定した計画が、国の方針と整合性がとれており、28の個別施策について、観点の漏れがないか、重点的に記載すべき事項がないかをご確認いただき、実現性・実効性のある計画を策定する。 | |
| | アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | |
| | デジタル化計画の基本方針・個別施策案に対して、以下のご意見・ご助言をいただいた。 ・各課が個別に目標達成するのではなく、横ぐしを遠し、全体最適へ結びつけることが重要。 ・システム面、ニーズ面双方から足並みを揃え計画を策定するためには、“ヒューマンセントリックなシステム”をデータセントリックなシステムで構築するといった思考が必要。 ・従来は、定型的な業務をICTにより効率的にやる発想であったが、個々に応じたきめの細かいことをシステムで実現するのが、今後の流れである。 | |
| | 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | |
| | 以下の点について、計画書への反映や今後の検討課題とした。 ・デジタル化の目的として、“個々に応じた”というニュアンスを協調して記載をした。 ・各個別施策について、住民にわかりやすい表現となるように見直しを行った。 ・先端技術の研究・導入として「LPWA(省電力かつ長距離で無線通信ができる技術)」を追加した。 ・デジタル化3原則のワンズオンリーが重要である考え、データベースをバックエンドで連携させることについて、今後の検討課題とした。 | |
| | 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。①事業に係る計画書等を策定できた |
| | 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい) | 特になし |
| | アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 個別プロジェクトに係る支援であったため、アンケートは行っていません。 |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | 玉城町として、実現性・実効性のあるデジタル化計画を策定する。 | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

